

宮城県図書館

MIYAGI PREFECTURAL LIBRARY

宮城県図書館では情報発信推進の一環として、学校や市民グループなどを対象とした図書館施設見学を行っています。施設見学ではより多くの方に図書館のサービス内容や機能を知ってもらうとともに、県立図書館としての役割など各種事業を紹介しています。また、普段一般の方は立ち入ることの出来ない「閉架書庫」を案内し、美術全集や明治・大正期の新聞などの資料を実際に手にとって見ていただいたり、電動書架を実際に動かしていただいたりしています。

今回の特集ではツアーの見どころを取り上げるとともに、多く寄せられる質問についてご紹介します。

電動書架



4階閉架書庫は全て「電動書架」で構成されています。その名の通り「電動式の書架」です。普段は「集密書架」（限られた場所により多くの資料を収容するために考えられた書架。可動式にした書架と書架の間隔を詰め、資料を取り出すために必要な部分の通路だけを開けられるようにして数多く収容することが出来るようにした書架群のこと）としての役割も果たしています。当館では約105万冊の資料を所蔵しています。そのうち約80万冊はこの3・4階の閉架書庫に収蔵しています。閉架

書庫の資料を利用するときには、レファレンスサービスでご利用いただくか、直接蔵書検索をしてカウンターにお申し込みいただいています。

4階



レファレンスサービス



「レファレンスサービス」とは利用者のみなさんから質問・相談を受けて、調査・研究のために必要な資料の紹介や、資料を探すためのお手伝いをする事です。図書館司書が蔵書検索システムやデータベース、索引などを使ってお探しの資料を調査して利用者へ供しています。図書館資料の貸出サービスとは違い、利用したことのない人にとってはあまり馴染みのないサービスかもしれません。そのためより多くの方に利用していただけるように施設見学時にもご紹介をしています。

超大型本コーナー



3階

貴重資料閲覧室

貴重資料閉架書庫

調査相談コーナー

みやぎ資料室

ラウンジ

一般図書 参考図

宮城県図書館 Q & A

施設見学時にはさまざまな質問をいただいております。その中からいくつか質問をご紹介します。

Q1 宮城県図書館には年間どのくらいの方が来館しているのですか？ また何冊くらい本を貸し出ししているのですか？

A1 平成21年度は年間でおおよそ50万人が来館しています。1日あたりに換算するとおおよそ1,700人弱になります。また1年間の個人貸出数はおおよそ90万冊です。こちらも1日あたりに換算するとおおよそ3,000冊になります。
※平成22年度は年間でおおよそ46万人が来館しています。個人貸出数は82万冊です。但し東日本大震災の影響で3月12日から5月12日まで延べ62日間休館しました。

Q2 宮城県図書館はとても広い建物ですが、どれくらいの広さなのでしょう？

A2 面積は、おおよそ18,100㎡です。これは楽天イーグルスの本拠地であるクリネックススタジアムのおおよそ2/3の大きさです。長さは東西200m、南北30m、高さ25mあります。

Q3 宮城県図書館ではどのような催しものがありますか？

A3 毎月第2週と第4週に2階ミニシアター青柳館でDVDやビデオの上映会を行っています。また2階子ども図書室で毎週金曜日、土曜日、日曜日に絵本の読み聞かせを行っています。その他にも2階展示室では常設展・特別展・企画展を開催し、図書館資料との出会いの場を設けています。

Q4 読みたい本が宮城県図書館にない場合はどのように対応していますか？

A4 リクエストを受け付けております。(ただし、全てのご希望には添えかねますので予めご了承ください。)また、県内や全国の図書館に希望の本がある場合は、その図書館から借りることが出来ます。3階調査相談カウンターにご相談ください。